



The 12th OECD Forum on Green Finance and Investment に参加しました

2025年10月7~8日、フランス・パリにおいて開催された「The 12th OECD Forum on Green Finance and Investment」に、GX 推進機構から高田理事が参加しました。

1. 「The 12th OECD Forum on Green Finance and Investment」の概要

- [日付] 2025年10月7日(火)・8日(水)
- [場所] OECD 本部(フランス・パリ)
- [主催] OECD(Organisation for Economic Cooperation and Development: 経済協力開発機構)
- [参加者] 世界120カ国以上から1,550名以上

The Forum on Green Finance and Investment は、OECD が毎年開催するグリーン／サステナブル・ファイナンスに関する主要なイベントです。本年開催された第12回フォーラムでは、「Investing in Sustainability, Investing in Economic Resilience (サステナビリティへの投資が経済を強靭化する)」とのテーマの下、世界各国からグリーン・ファイナンス及びサステナブル・ファイナンスの主要な関係者が一堂に会し、脱炭素化と経済強靭化・経済成長・競争力強化の同時実現を議論しました。その他、気候変動への適応、生物多様性、グリーン化とデジタル化の両立、新興国・開発途上国(EMDEs)における脱炭素化の支援等、多様なトピックについても議論されました。主催者によれば、450人以上が会場で、1,100人以上がオンラインで参加したことです。

なお、本イベントは、OECD ホームページから録画の視聴が可能です。

<https://www.oecd-events.org/oecd-forum-on-green-finance-and-investment-2025>

2. パネルディスカッションの概要及びその模様

- [日付] 2025年10月8日(水)
- [名称] High-Level Plenary: Credible Corporate Climate Transitions: Ensuring Integrity and Feasibility

本パネルは、London School of Economics の Robert Patalano 氏がモデレータを務め、RMI(Rocky Mountain Institute :非営利団体)、Environment Agency Austria(オーストリア環境庁)、Maersk 社(デンマークの海運会社)からのパネリストと共に、GX 推進機構の高田理事がパネリストとして登壇しました。

本パネルにおいては、企業の移行計画の信頼性(credibility)を確保するために必要な、環境的な適切性(environmental integrity)と、経済的な実現性(economic feasibility)を両立させるために求められる政策的な枠組み等について議論されました。議論において、高田理事は、

- ・日本のGX政策がまさに、本パネルのテーマである脱炭素化と競争力・経済成長の両立を目指すものであること、
- ・企業の移行計画は最終的に、脱炭素化のみならず、企業の競争力・収益力につながるものでなければならず、そのためには、グリーン製品・サービスが収益につながる市場の創造、消費者・国民が脱炭素化のコスト負担を容認する環境の醸成が必要であること、
- ・ただし、脱炭素化は短期的にはコストとなっても、競争力・経済成長に結びつくことによつて中長期的にはその恩恵が国民に還元されること、

を強調しました。

(登壇の様子)





(本発表資料のお問合せ先)

脱炭素成長型経済構造移行推進機構

担当者:財務・サステナビリティ推進部

海部、天達、清水、會田

メール:gx_acceleration_agency★gxa.go.jp

※[★]を[@]に置き換えてください。